

文化をままぢりくり 活かす?

小美玉市まるごと文化ホール計画シンポジウム

昨年、みの〜れが地域創造大賞を受賞したように、「住民参画による文化のまちづくり」の先進事例として、小美玉市は全国から高い評価を受けています。文化ホール3館の活気、集う人材、強い愛着から生み出される企画実行力を、これから市内全体にどのように波及させ、まちの活性化を図っていくか、文化の力が期待されています。福島県喜多方市の事例とパネルディスカッションを通して、まちの未来をみんなで考えました。

「喜多方発21世紀シアター」は、毎年8月に市内の店や蔵で演劇・音楽が開催され、延べ7,000人の集客を誇り、文化と観光を結びつけたイベントとして定着しています。2部では、文化活動に関わっているボランティア4人から「活動していて楽しい」「充実感がある」「新たな自分発見ができる」と、参加の意義に関する意見があった一方で、「次世代へのバトンタッチ」「もっと多くの住民に参加してほしい」「人が足りない」との問題点も指摘されました。このシンポジウムをきっかけに、文化のまちづくりに関心を持ってくれる住民の輪が広がることを期待します。〈みのんば編集部 貝塚勇、酒井和美〉

茨城新聞 平成23年1月17日(月)付

文化の役割探る 住民参画でまちづくり

「小美玉市まるごと文化ホール計画」のシンポジウム(市、市公共ホール運営委員会主催)が16日、小美玉市部室の四季文化館「みの〜れ」で開かれ、市民や関係者ら120人以上が参加した。地域での文化の役割などについて活発な意見交換が行われ、住民参画による「文化のまちづくり構想」が本格始動した。



成。①真正正銘の住民とまらない活動ーを文化ホール計画のシンポジウム(市、市公共ホール運営委員会主催)が16日、小美玉市部室の四季文化館「みの〜れ」で開かれ、市民や関係者ら120人以上が参加した。地域での文化の役割などについて活発な意見交換が行われ、住民参画による「文化のまちづくり構想」が本格始動した。

シンポジウムでは、島田穰一市長が「食や歴史、農業も文化ととらえ、文化の薫り豊かなまちとして活性化したい」と冒頭あいさつ。福島県喜多方市の文化ホール「喜多方プラザ」元館長、薄崇雄さんの基調講演ほか、各館の市民ボランティアを招いたパネルディスカッションも開かれ、「文化をまちづくりに生かすには」「今後の課題」など、実体験をふまえた熱心な議論が交わされた。山口茂徳の〜れ、アピオス両館長は「文化は大きなポテンシャルを持った分野。その包容力で、結果的に市民一人一人が喜びを見いだせるまちにしたい」と意欲を見せた。(末武奏子)



まちの未来を思う人

アピオスばらずに若い人たちが誘い、一緒に参加している。「堅苦しくないボランティアだから楽しい」と本田さん。「子ども達に本物の舞台、本物の芸術を観せたい」と語ってくれた。そして話のいきつくところは「まちの未来」。子ども達相手の

仕事のせい、また、3人のお嬢様を思う気持ちの現れか、将来子ども達が住みやすくなっているだろう、まちの話になる。この方のボランティアの根幹は、きっとその為の一環であるに違いない。

〈みのんば編集部 野手利江〉

ほんだ じん こ
本田仁子さん

【小美玉市まるごと文化ホール計画 策定プロジェクトチームサプリーダー】
【アピオスばらず】



小美玉さくらフェスティバル

2011年4月2日(土) 9:30~15:30

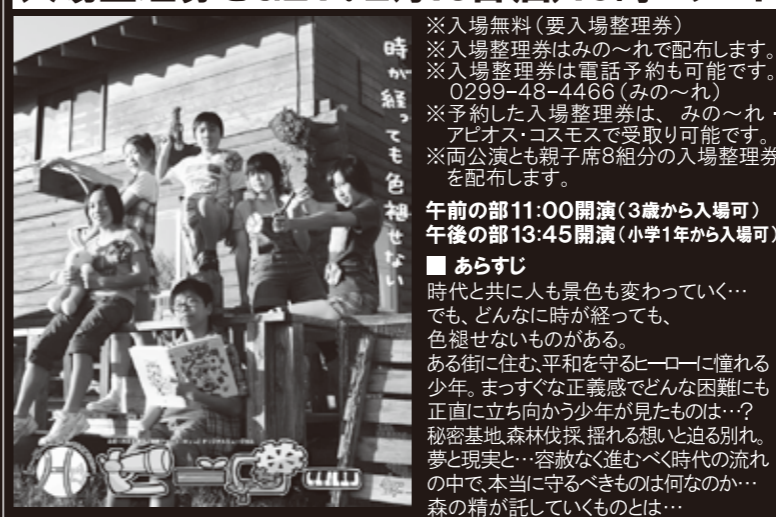
イベント盛りだくさん! お楽しみに!

- 野外……餅まき / 模擬店 / 歌謡ショー / スタンプラリー / 電気機関車 / 移動動物園 / パレード
- 森のホール…演劇ファミリーMyuミュージカル「ヒーロー」
- 風のホール…おばけ屋敷
- 風の広場…科学実験
- ホワイエ…モザイクアート

※それぞれのイベント名称は変更する場合があります。

▼みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」新作オリジナルミュージカル「ヒーロー」

入場整理券をGET! 2月13日(日)10時スタート



※入場無料(要入場整理券)
※入場整理券はみの〜れで配布します。
※入場整理券は電話予約も可能です。
0299-48-4466(みの〜れ)
※予約した入場整理券は、みの〜れ・アピオス・コスモスで受取り可能です。
※両公演とも親子席8組分の入場整理券を配布します。

午前の部 11:00開演(3歳から入場可)
午後の部 13:45開演(小学1年から入場可)

■ あらすじ
時代と共に人も景色も変わっていく…でも、どんなに時が経っても、色褪せないものがある。ある街に住む平和を守るヒーローに憧れる少年。まっすぐな正義感でどんな困難にも正直に立ち向かう少年が見たものは…? 秘密基地 森林伐採 揺れる想いと迫る別れ。夢と現実と…容赦なく進む時代の流れの中で、本当に守るべきものは何なのか…森の精が話していくものは…

【春よ来い!“小美玉さくらフェスティバル2011”】

厳しい寒さが続いています、みの〜れが誕生する前に裏の広場に植樹された桜が、15年の歳月を経て立派に育ちました。四季の里が桜で満開になる4月2日の本番まであと3ヶ月を切りました。みの〜れ森のホールでの演劇ファミリーMyuミュージカル「ヒーロー」のほか、風のホールやホワイエ、野外企画がほぼ確定し、各イベントグループでの活動も始まりました。「世代や地域を超えた楽しいフェスティバル!」を目指して活発な話し合いが続いています。

〈みのんば編集部 小原エミ〉

REPORT ととのいましたーお誕生企画を市長にお届け2年後…アピオス30歳&みの〜れ10歳へ



左から、前島京子さん(アピオスばらず会長)、内田保さん(小川文化センター活性化委員会委員長)、島田穰一市長、黒田博彦さん(市公共ホール運営委員会委員長)、福島マユさん(みの〜れ支援隊長)

かねてより、アピオス30歳・みの〜れ10歳の記念すべきお誕生日の企画を!と準備会を立ち上げ、連日連夜にわたり案を練ってきましたが、その報告を市長に届け、晴れてこの1月から実行委員会を開催する運びになりました。さすが練り上げた案だけに、

どれも特徴ある企画で臨み、その実行委員と参加者大募集へと運んでいます。今後、企画にそってさまざまな場面への参加を募ります。おみたマガジンを隔々まで読んでいただき、ぜひご参加ください。あなたを待っています!!!
〈みのんば編集部 福島マユ〉

REPORT 親子で楽しむエンターテイメント ジャズピアノ&絵本&お芝居 おやこDEジャズ



怪しげなトンネル。そこを抜けると、不思議でかわいい虫の世界。てんとう虫の“テン”と、ミツバチの“ブン”との楽しい会話。客席の子どもの殆どは未就学児。「大丈夫かしら?」と小学生向けの絵本「聖夜の贈りもの」の朗読に

少し心配。でも心配ご無用。みなさんきちんと耳を傾けていました。公演終了後、1才3ヶ月の女の子に「面白かった?」と質問したら、「うん! うん♪」とうなずき、笑顔で帰っていきました。
〈みのんば編集部 小松崎由美子〉